令和８年 第１回皆野町議会定例会　開会挨拶

おはようございます。開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、令和８年第１回皆野町議会定例会を招集しましたところ、議員全員のご出席をいただき、開会できますこと、心から御礼申し上げます。

議員各位におかれましては、常日頃から地域づくり、まちづくりにご尽力をいただき、敬意と感謝の意を表します。

また、本日傍聴にお越しいただきました皆様におかれましては、町政に関心を持って足をお運びいただきましたことに御礼申し上げます。

はじめに、２月４日に発生した秩父市浦山地内の林野火災について申し上げます。この火災は鎮火まで３週間以上を要し、秩父消防本部発足以降、秩父地域で最大規模となる林野火災となりました。消火活動にあたられた消防、自衛隊をはじめ関係機関の皆様に深く敬意を表しますとともに、被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

秩父地域は山林が広く、本町におきましても同様の事態が起こり得る環境にあります。今年に入り、本町ではすでに２件の火災が発生しております。幸い大事には至っておりませんが、決して他人事ではありません。

３月１８日からは秩父札所午年総開帳が始まり、これから花の季節を迎え、多くの方が訪れる時期となります。町といたしましても、消防署、消防団と連携しながら、火災予防の呼びかけを徹底してまいります。

町民の皆様におかれましても、火の元の確認など、改めてご注意をお願いいたします。

ここで、１２月定例会以降の町の取組を報告いたします。

１２月には、３回目となる皆野教育シンポジウムを開催いたしました。皆野中学校３年生が「住み続けられる町づくり」をテーマに、地域や地元企業、大学生の方々と熱心に対話を重ね、その集大成として「まちづくり政策提言」を取りまとめ、提出いただきました。今年は１・２年生も提言発表の場に参加し、３年生の取組に大いに刺激を受けた様子でございました。今後は自らが３年生となり、まちづくりについて考え、提言していくことになります。今後の成長と活躍に期待しております。

１月、地域おこし協力隊を新たに３名委嘱しました。株式会社デジタルラボみなのに所属し、地域のデジタル化支援を通して地域の活性化に取り組みます。体制の充実により、事業者からの相談にも、よりきめ細かな対応が可能になるものと考えております。
また、地域活性化起業人を新たに１名委嘱しました。増加する空き家・空き地の利活用を推進するため、不動産分野の専門的な知見を生かし、所有者との調整や簡易家屋調査などに取り組んでいただきます。

２月、第２回みんなで皆野まちおこし万博を開催し、町内外から多くの皆様にご参加いただきました。まちづくりを進めるためには、外からの視点、内からの挑戦、そして積み重ねてきた経験が交わることが重要であるとの考えを、改めてお伝えしたところでございます。地域おこし協力隊をはじめ、町民や関係団体の取組を共有する機会となりました。

３月、「第１回みなの音楽祭」が開催されました。３０年以上にわたりアマチュア吹奏楽団等で演奏してきた経験を持つ地域おこし協力隊の沼子隊員が、音楽を通して人と人がつながる喜びや、大きな舞台で演奏する高揚感を分かち合える場をつくりたいとの思いから企画・開催したものであります。第１部では町民が輝くステージ、第２部ではプロによるサクソフォーン演奏が披露され、当日は約３００人の出演者・来場者でにぎわいました。今後も継続して開催できるよう、引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

また、町のＰＲ推進の一環として、み～なちゃんの着ぐるみをリニューアルしました。あわせて、ぬいぐるみも作成いたしました。今後、町のＰＲ推進に活用してまいります。なお、ぬいぐるみについては、新年度に販売先を公募のうえ、販売する予定としております。

さて、令和８年度皆野町一般会計予算について申し上げます。

５つの重点施策、

１　教育・子育て環境の整備

２　産業の振興

３　生活環境の整備、安心・安全なまちづくり

４　いきいきとした生活の実現

５　地方創生・共創のまちづくりの推進　を掲げ、

総額は５４億４，９００万１千円で、これに特別会計予算を加えた予算の総額は、７７億２，２７１万円でございます。

令和８年度は、人口減少・少子高齢化が進行する中にあっても、「対話・チャレンジ・幸せの向上」のサイクルのもと、町の将来を見据えた具体的な施策を前進させる予算として編成いたしました。

教育環境の充実については、令和７年度から継続して、小学校統合に向けた準備を進めるとともに、新・学校給食センター建設事業を推進し、安全で安心な給食提供体制の確立を図ってまいります。

また、地域公共交通については、デマンドタクシーの本格導入や町営バスの再編を進め、利便性の向上に取り組んでまいります。

一方で、現下の厳しい状況を踏まえ、町の将来に向けた新たな取組にも着手いたします。具体的には、「道の駅みなの」のリニューアルに取り組み、農業・産業の出口としての機能を強化し、地域に経済効果をもたらす拠点づくりを進めてまいります。敷地拡張を含めた一帯の再整備という大きな事業となりますが、将来を見据えた挑戦として、まずは構想の策定から着手してまいります。

令和８年度は、基盤整備をさらに具体化し、将来を見据えながら、着実に取り組んでまいります。

なお、第３期皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略を、議案と合わせて配付しておりますので、ご覧いただければと存じます。

本定例会の町長提出議案は、付議事件一覧表のとおり、２６議案でございます。

ご審議を賜り、可決、承認いただきますようお願い申し上げまして、挨拶といたします。